

平成28年度事業報告書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

特定非営利活動法人TICO

1 事業の成果

ザンビア共和国を含むアフリカ・アジア地域に対して地球規模の問題に苦しむ人々の自立支援と、持続可能な社会の構築を目指し、事業を行った。

ザンビア共和国では、農村部保健医療改善事業（地域保健システムの強化を通じた母子保健向上）が最終年度を迎え、仕上げの介入としてこれまでの活動と成果を現地にいかに関係者と継続的に話し合った。事業はザンビア政府関係者のみならず国際援助機関からも高く評価され、次のザンビア国保健5か年戦略ペーパーに成功事例として掲載される予定。事業終了と同時に、資金繰りの困難さ等からザンビア駐在事務所も今年度末を持ち閉鎖した。

WAHE 事業としては継続して農村部教育機会向上事業では30名の学費を支援、農村部地域住民による課題解決支援事業として新規1件、継続2件を行い、事務所閉鎖までに完了しない事案については現地側が引き続き実施することとなった。

カンボジア国においては、公益社団法人セカンドハンドとの協働で実施してきた救急医療支援活動を成功裏に終わらせることができた。

国内事業に関しては、地球人カレッジの実施や季刊誌の定期的な発行、イベントへの出展を行った他、昨年度同様、小・中・高等学校、大学などの教育機関への開発教育活動、合宿セミナーなどを開催した。また、ザンビア事務所の閉鎖に伴い、今後の事業の方向性の確認を含む、団体としての運営体制に関する見直しを合宿形式で二回実施した。この合宿を通じて、理事及びスタッフ等関係者が現状に対する共通認識を持ち、より良い団体運営と事業展開に向け意見交換を行えたことは、団体設立から20年以上を経て、組織そのものを見直す貴重な契機となった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
生活向上の機会を著しく奪われている人々の問題解決への協力事業	ザンビア ①ンゴンバ民生改善事業 ・コミュニティスクール運営支援	年4回	ルサカ市	1人	ルサカ市 ンゴンバ地区 住民一般2万人	459
	ザンビア ②農村部保健医療改善事業(地域保健システム強化) 【JICA草の根技術協力事業】： ・住民保健組織(NHC)の強化 ・診療所とNHCの連携強化・促進(出張健診支援等) ・郡保健局との連携 ・エンドライン調査の実施 ・ハンドオーバー会議の企画実施 ・成果共有会の企画実施	週2回	チサンバ郡	3人	チサンバ郡 モンボン地区 住民一般2万人 ムワプラ地区 住民一般1万人	11,455
	ザンビア ③農村部教育機会向上事業 ・中等教育学費支援	年5回	チサンバ郡	1人	チサンバ郡 モンボン地区 住民一般2万人	496
	ザンビア ④農村部地域住民による課題解決支援事業 ・住民主導村落開発小規模支援	月1回	チサンバ郡	1人	チサンバ郡 モンボン地区 住民一般2万人	1,620
	ザンビア ⑥ザンビア事務局運営	通年	ルサカ市	1人		3,752
	カンボジア ⑦医療従事者救急対応力向上事業 ・救急隊員に対する研修 ・医療従事者の日本招聘、研修	通年	プノンペン市 西部地区/ スヴァイ リエン州	1人	プノンペン 西部地区市民 30万人 スヴァイリエン州 48万人	0

	カンボジア ⑧住民啓発事業 ・地域におけるファーストエイド啓発活動	通年	プノンペン市 西部地区/ スヴァイリエ ン州	1人	プノンペン 西部地区市民 30万人 スヴァイリエ ン州 48万人	0
	カンボジア ⑨事務所管理	通年	プノンペン市 事務所	1人		0
	新規案件形成調査	通年	ルサカ市	5人		871
会報及び出版物の発行	機関誌、パンフレットの発行・広報媒体作成、その他の広報活動	年4回	事務局	2人	会員・一般 500人	118
国内での開発教育に関する事業	青少年人材育成事業（合宿受け入れ、ユース）	通年	事務局等	4人	全国	19
	地球人カレッジ	7回	事務局	2人	地域・一般133人 (1回当り19人程度)	105
	県内外へ講師派遣事業	随時	事務局等	4人	地域・一般千人 (1回当り10~300人 程度)	9
他の市民活動を行う団体の運営または活動に関する連絡、相談、助言等の事業	他の市民活動を行う団体との共同支援活動、他の市民活動を行う団体への相談、助言	随時	事務局等	4人	他の市民活動を行う団体（約20団体）	0
	事務局運営（管理費）	通年	事務局	3人	全事業対象者	4,084

(2) その他の事業

実施した事業はありません。